

広報 なかわだ

第 406号

12月の予定

教会委員会 7日 (土)
信徒の会 15日 (日)
ゆるしの秘跡 8日(日)、15日(日)
主の降誕 24日(火)、25日(水)



The Adoration of the Shepherds (Peter Paul Rubens 1608)

2013年 12月号

中和田カトリック教会
広報委員会発行

泉区中田北 1 丁目 9-1
Tel. (045) 803-6141

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

2013年12月1日

八ヶ岳のふもとにある・・・

主任司祭 小林 陽一

長野県の八ヶ岳山麓にある高森草庵を訪ねたのは、1983年6月頃でした。母屋は、長野県の1950年代の農家風の建物でした。玄関先が土間になっており、そこは5～6人が作業できそうな感じでした。土間から下足をぬいで畳の部屋に入ると、15人くらいが囲める脚の短い茶卓があって、そこが食堂でした。この建物の主人は、ある修道会の修道司祭、O神父様でした。

その後、同じ年の8月頃、三泊四日の予定で宿泊させていただきました。初日の夕食は、例の畳の部屋の15人くらいが座れる茶卓を私も含めて知らない者どうし10人くらいが囲んで始まりました。直径13cmくらいの井に山盛りに盛られた玄米のごはん、それに漬物とこの土地で収穫された玉ねぎ入りの味噌汁、それだけでした。味わいのある食事でした。

次の日の朝早く、金属音で目を覚まし、聖堂に向かいました。10人くらいが板の間に座って座禅をくんでおりました。私も黙って聖堂で座禅し、30分後、O神父様司式のミサが始まりました。ほとんど座ったままのミサ。式次第は教会の式次第と全く同じ。聖書朗読が終わり、パンを奉納した時、一人の男性の参加者が、聖堂にあった火鉢に外から持ち込んだ枯れ枝をくべると、火鉢からもうもうと煙が立ち上がりましたが、それも束の間、煙は消されました。聖体拝領があり、祝福が終わって、ミサは終わりました。夜明けに聞こえた金属音は、空のプロパンのボンベを叩く起床の合図でした。

1984年ころの2月、ある教会の青年5人と長野県を訪れた折、訪問者のいない高森草庵を訪ねました。シスター方がおられて、その年の寒さのことを聞きましたら、「冬は-20℃近くになります」と言われ、母屋の周りは雪で真っ白でした。ここは1884年当時、おそらく暖房設備は石油ストーブだけのようでした。

1983年8月に泊り込みで出かけた時、小屋に泊まるように言われて、そのとき初めて母屋から少し離れたところに散らばるようにして建てられた一戸建ての小屋に気がつきました。小屋は全部で10軒くらいありました。それぞれの小屋の中は板の間で、畳が二枚敷いてあって、その上に夏蒲団二枚がたたんで置いてありました。引き戸のある出入り口とガラスのない窓がありました。その小屋に入って気がついたことは、すべて手作りで、材料も古い木材。いろんな所から提供された建築材料を使ってありました。後で教えられたことは、ここを訪ねた訪問者が、貴重な日数を費やして奉仕でこれらの小屋を建てたのだということです。

高森草庵は黙想と座禅と草取り、そしてこの土地で収穫した食料、野菜を大切にしておられます。

読みにくい文章をお読みくださり感謝申し上げます。よいお年をお迎えください。

典礼こよみ (十二月)

日	曜	典 礼	ミ サ	備 考
1	日	待降節第1主日	主日ミサ(9時)	
6	金		初金ミサ(10時)	掃除
7	土		主日ミサ(18時)	
8	日	待降節第2主日	主日ミサ(9時)	ゆるしの秘跡
9	月	無原罪の聖マリア(祭日)	祭日ミサ(10時)	
14	土		主日ミサ(18時)	掃除
15	日	待降節第3主日	主日ミサ(9時)	ゆるしの秘跡
21	土			掃除
22	日	待降節第4主日	主日ミサ(9時)	ミサ後聖堂大掃除
24	火	主の降誕(祭日 夜半ミサ)	祭日ミサ(19時)	
25	水	主の降誕(祭日 昼間ミサ)	祭日ミサ(10時)	
28	土			掃除
29	日	聖家族(祝日)	主日ミサ(9時)	



三位一体の研究を経て日本文化の土壌にある霊性の研究も含めた総合的な聖霊の探求をしてられる清泉女子大学名誉教授 小野寺功さんにお話を伺いました。

▲受洗に至るまでのお話をお聞かせください。

一私は岩手の花巻と遠野との丁度中間にある一寒村の生まれで、神道、縄文文化、法華経的な土壌の中で育ちました。敗戦と共にそれまで信じてきた価値観が崩れ去り迷いの中にあつた頃、盛岡を巡回中のザビエルの聖腕（奇跡の右の手）にひかれ、カトリック教会の門をくぐって以来、神学・哲学に人生をかけたいと思うようになりました。その後上智大学に入学して寮で最初にお世話になったボッシュ神父は、高校の時フランシスコ・ザビエルの伝記を読み非常に感銘を受け宣教師になって日本に来られたとのことで、偶然というよりは何か導かれるかのように洗礼を受けました。今思えば聖霊の導きだったんですね。

▲聖霊の働きとは？

一ヨハネの福音に御父が御子イエスを遣わしイエスは遺言の形で聖霊を派遣するとあります。一方平均的な日本人は無宗教だとか言われますが、実は神道、仏教などを通し日常生活の根っこに無意識の宗教性（霊性）を持っています。受洗したものの長い間カトリックの教えを自分のものとして具体化できずにいた頃、ふと聖霊の気づきを通してキリストに出会い、キリストを通して御父に出会うということを実感として体験しました。まさに聖霊の働きが私に自覚を促し内なるキリストに気づかされて真に御父と出会えたのです。本来の教えとは順序が逆になりますが日本人の神との出会いはこのようにして起こるのではないかと考えます。神を感じさせるものが聖霊の働きなんです。

▲カトリックの魅力を教えてください。

一カトリックでは第二バチカン公会議以降、プロテスタント、他宗教を尊重し認めようという姿勢に転換し、より統合的な宗教となっています。異質を排除するのではなく木が土壌からエネルギーを吸い上げるように他宗教の真実を生かすことによって信仰に命を吹き込むことができるのです。今後カトリックは仏教（東洋思想）との出会いを通して日本から世界に発信することができると考えています。日本人の心にエコーする命みなぎるキリスト教—これが私の求めているものです。

▲「ゆるしの秘跡」についてお考えをお聞かせください。

一西欧では教会離れが進んでいて「告解」をする機会がなくなり、精神を病む人が増えてきたそうです。「告解」に代わり現代では精神科医が「カウンセリング」で対応していますが「ゆるしの秘跡（告解）」によるような霊的な救いは期待できないでしょう。現代の日本社会においても教会の「ゆるしの秘跡」の役割について積極的に検討する必要があると思います。

▲信徒の会へメッセージをお願いします。

一信徒同志の対話を通して体験の交流の場、互いにエコーし合える場が形成されていくことを期待しています。私にとって本音で語り合える「信徒の会」は学びの場でもあり「心のオアシス」でもあります。

2013年 クリスマス合同礼拝のお知らせとお誘い

今年は毎年恒例となっている泉区民クリスマスの会場・公会堂の抽選に残念ながら外れてしまい検討を重ねた結果《クリスマス合同礼拝》を12月21日（土）宮ノ台幼稚園で行うことに決定いたしました。

形式は賛美、祈祷、聖書朗読、説教。その後賛美のダンス、連合聖歌隊のコラスとなります。連合聖歌隊はバッハの荘厳で華やかなクリスマスにふさわしい2曲と去年好評のアヴェヴェルムを心を込めて歌います。

最後15時半から30分ほど参加者どなたでも参加できる親睦会を準備しておりますので、皆様どうぞ一緒に歓談のひとつときをお楽しみください。中和田教会は豚汁をご用意します。尚当日の献金は全額を泉区社会福祉協議会に寄付いたします。



日時：12月21日（土） 場所：宮ノ台幼稚園（駐車場有）

時間：14：00～16：00 終了予定

<施設訪問とキャロリング>

12月15日（日） 恒春の郷 14：00～15：00

*キャロリング 弥生台駅前「相鉄ローゼン」中庭16：15～16：50（雨天中止）

キャロリングはどなたでも参加できます。お馴染みのクリスマスソングをご一緒に歌いましょう！！

（宣教グループ区民クリスマス担当 石井 悠子）

主の母・教会の母マリア

最近、横浜地区のレジオ・マリエ（「横浜コミチウム」と言い、14の小教区のレジオ・マリエで構成されている）の黙想会で、マリア様を黙想する機会が与えられました。

ご指導はフランシスコ会司祭の小西広志神父様。独特の個性と信仰姿勢をもって話される講話には、つい引き込まれるように聴き入っていました。この日のテーマは「主の母・教会の母マリア」。第二バチカン公会議の前と後で、教会のマリア様に対する理解がどのように変わっていったかを中心に、マリア様への理解を深めるものでした。公会議前のマリア観は、マニュアル化されたマリア観で、信心熱意に伴って様々な称号が与えられ、仰ぎ見る存在となっていました。公会議後は、公会議前からの気づきによって、「教会の秘儀におけるマリア様の役割」に中心が置かれるようになったということです。「神の御ひとり子が人となった」という根源的秘跡にある恵みの中にこそマリア様が存在し、それゆえにマリア様は「主の母」であると同時に「教会の母」となられたのです。マリア様が主によってイエス様の母として選ばれ、そのイエス様の生涯に深く関わって生き、主の救いのみ業のために苦しみ、悲しみさえ捧げられた事実をあらためて心に深くきざみ、信・望・愛を生きる教会の中心に存在し、人々をキリストに向かわせる役割をしておられるマリア様に祈りつつ、その母性にも与りながら、共に歩いていただきたいと思います。

父と子の深い交わりをいちばんよく生きられたマリア様。そして今、マリア様は交わりを生きる教会のシンボル、モデルとして、私たちの旅路にイエスを示しながら、共に歩んでくださっているのです。

最後に、小西神父様は私たち、マリア様に祈ること、教会の秘儀を黙想するロザリオもまたすばらしい祈りであることをお勧めになりました。

（岩崎 好愛）



観測倍率
20 倍
50 倍
120 倍

月面観望会の報告

11月8日（金）に行いました月面観望会は天気にも恵まれ、思っていたより沢山の方々が観てくださり、また、喜んで戴き嬉しく思いました。

教会を初めて訪れた子供達、その保護者の方もかなり見られました。宣教を根底にした所期の目的は少しは達成したのではないかと思います。

観望会にあたり畠関係の皆さん・信徒の会の皆さんのご協力に心から御礼申し上げます。有り難うございました。みなさんの熱心さに、指導された先生も喜ばれ今後も協力するとのことでした。

■観測者総数	40 名
●小・中学生	18 名
教会関係者	7 名
外部参加者	11 名
●大人	22 名
教会関係者	15 名
外部参加者	7 名



（森脇 美武）

信徒の会： 例会の報告

11月の第3日曜日に信徒の会の例会を開きました。20名弱の方々が熱心に議論に参加下さいました。久々の例会でしたので、まず各種報告を実施。その後、ハイキング、他教会訪問、黙想会、ミニ講演会、映画鑑賞と分かち合い等、今後の各種イベントについての意見交換を行いました。ハイキングについては、10月はバザーに近く忙しいため、秋は9月または11月、春は4～5月に実施することとなりました。候補地の御提案も頂きました。黙想会は中和田教会内、外部の双方について担当の方に案を御検討頂くことになりました。また来年のガーデンパーティーは有料（1000円程度）とすることでご了解を頂きました。他教会訪問等は観光バスの利用を検討します。このあと、自由討議の中でユダヤの民との契約である旧約聖書がなぜキリスト教に於ける聖典なのかという疑問が出されましたが、小林神父様から、キリストの教えの根本的な所も含め基本的には新約聖書の精神のすべてが旧約聖書の中に記述されている旨解説がありました。

これからも例会やイベントに多くの方々の御参加をお待ち申し上げます。

（岩淵 英介）



戸塚教会ではバーク神父様と福祉の方々が協力してホームレスの方たちにカレーライス、おにぎり、味噌汁など毎週金曜日と日曜日に提供されています。

中和田教会は一握りのお米から始めましたが、今ではお米はもちろんのこと毎月お米を買うお金、野菜、年に二度のお肉、その他（歯ブラシ、タオル、カミソリ）などを寄付頂いてお届けしています。

先日とても不思議なことがありました。お米を戸塚教会に届けた時、福祉の方がお礼の言葉とともに「ホームレスの方におにぎりを届けていますが、梅干しもあったらと・・・」と言われました。梅干しは買えば手に入るものですが、どうしたら良いものかと思いつながら中和田教会に戻ったところ、ある信徒の方から大量の梅干しが届けられておりました。偶然と言ってしまえばそれまでですが、神様のお導きとは感じられないでしょうか？もちろん、すぐに戸塚教会に届けました。このように支援が繋がって続けれられていることは神様のお計らいと、いつも協力してくださる中和田教会の信徒の皆様のおかげと感謝を申し上げます。

戸塚教会では金曜日の夜、関内で19時から30分ぐらいホームレスの方に食事を提供するお手伝いのできる方を募集しています。ご協力頂ける方は福祉の中島にお声をおかけください。

(中島喜美子)

委員会だより

(文中敬称略)

△11月10日(日) 13名出席▽

■報告事項

- ・ホワイトボードスケジュール確認
- 12月7日(土) 10時〜教会委員会
- 12月22日(日) 聖堂大掃除
- 12月24日(火) 主の降誕祭
- ・パーティ(行事委員で今後検討)

■各グループからの報告

●財務(甲斐)

- ・支出として一般会計から床下ガス管工事費、新規ガスコンロ購入
- ・臨時指定献金として愛の献金+福祉から難民移住移動者委員会へ献金(5万)

●宣教(石井・洋)

- ・中高生会 11月2日(土) 信仰年の終わりにあたり、信仰年について聖書の箇所を選んで神父様と共に分かち合いを行った。(参加者7名)

- ・2014年度の堅信について以下の希望日を決め神父様に司教館に連絡して頂いたので決定を待っている

第一希望	7月6日(日)、
第二希望	6月15日(日)、
第三希望	5月25日(日)

●要理(石崎)

- ・12月24日(火) 歌を歌うことを検討している。

●建物を考える会・営繕(福島)

- ・ダスキンの契約を更新する前に、

契約の内容やそうじの仕方の見直しをする(甲斐)

●典礼(大宮(智))

- ・葬儀の葉を新しく購入する。
- ・信仰年を締めくくる聖体顕示式を11月17日(日)に行う。
- クレド・ドミネを歌う(11月10日リハーサル)

●行事(小野(和)、森田)

- ・今年度バザーの収支報告ー収益の1割を信徒の会の活動費にあて、残りを建設資金と愛の献金に振り分けることを提案したい(甲斐)↓承認
- ・来年もバザーをするとしたら今年の反省が生かされるよう記録しておきたい。

●福祉(中島)

- ・去年のバザー収益金の寄付先ー福祉と上野委員長で検討し決定する。
- ・来年度の寄付先や必要経費について予算を委員会に提出する。

●広報(今井)

- ・原稿のお願い

●信徒の会(岩淵)

- ・今後は他教会訪問等を計画している。

■神父様の話

- 1 堅信式の申込みをした。(上記宣教G欄を参照)

- 2 11月17日(日) 信仰年締めくくりのミサ

- ミサ後聖堂にて聖体賛美式を実施する

3 ゆるしの秘跡 8日は講話とゆるしの秘跡、15日は子供さん優先としたい

4 10月末、研修司祭大会(福島いわき市)に参加して現地(東北被災地)に行くことが現地の人を支えることと感じた。今後もカリタス釜石と交流を行っていく

■討議報告事項(上野)

- ・広町自治会創立50周年記念式典・祝賀会 11月4日出席した
- ・女子パウロ会から書籍販売の礼状と書籍5冊を寄付して頂いた、子供さんの本も三冊あり、集会室の書棚に入れておくので利用してください。

以上

次回委員会 12月7日(土)

